

第1号議案

公益社団法人土岐市シルバー人材センター 令和元年度事業実績報告

令和元年度は、シルバーの理念である「自主・自立、共働・共助」を念頭
中・長期計画の目標である会員拡大と就業開拓、安全就業に取り組んできました。

会員拡大については65歳定年延長や70歳までの雇用拡大等により入会希
望者は少なくなり、また会員の高齢化により退会者が増加するなど、会員増は
非常に厳しい状況になってきました。

そこで今年度は、新規事業に対する会員獲得をめざし、シルバーへの事業拡
大を目標に、各企業・商店等へのアンケート調査を実施いたしました。

しかし回答数が少なくシルバーへの仕事依頼に結びつくような結果は得られ
ませんでした。今後は直接各企業に出向いて就業開拓をする必要があります。

安全就業については、事故・怪我防止の啓発に努めましたが、今年度も飛石
による物損事故を減らすことが出来ませんでした。

事業実績は、会員数243名、請負・委任による受注件数2,165件、契
約金額121,841,214円、就業延人員23,591人日でした。前年
度と比べ、会員数8名、受注件数126件、契約金額2,912,717円、
就業延人員786人日の減少で、いずれも事業計画の目標には至りません
でした。派遣事業では、契約金額26,451,365円、就業延人員4,800
人日、受託収益2,861,946円でした。前年度と比べ、契約金額5,243,
935円、就業延人員873人日、受託収益451,236円の増加が
あり、事業計画の目標を達成いたしました。

また平成29年度に引き続き今年度は事務所移転があり、会員の皆様には多
大なお迷惑をお掛けしましたが、無事移転することが出来ました。

以前より不便な場所に移りましたが、今まで以上に充実した施設になりました。
改めて今後もシルバー発展のため、会員及び職員一同で心機一転頑張っ
て、会員拡大と就業開拓、安全就業に取り組み、当センター事業の一層の推進
に努めて参ります。

主な事業実績は次のとおりです。

① 会員数	243名
② 就業延人員	23,591人日
③ 契約金額	121,841千円
④ 受取事務費	8,671千円
⑤ 就業率	79.0%
⑥ 派遣事業就業延人員	4,800人日
⑦ 派遣事業契約金額	26,451千円
⑧ 派遣事業受託収益	2,861千円

1 普及啓発事業

- ① 公共・民間等現場に出向いて、より一層の理解と信頼を得られるよう努めました。
- ② 入会者説明会を定期的に月2回開催し、出張入会説明会を3回開催した他、希望者の要望に応じて臨時説明会を通年で実施しました。
- ③ ケーブルテレビ「おりベネットワーク」にて多治見市・土岐市・瑞浪市の共同でシルバーのCMを放映しました。
- ④ 機関紙「シルバー土岐」を年1回市内に全戸配布し、シルバー事業の紹介、会員募集の呼びかけを行いました。また、会員募集チラシの全戸配布を2回行いました。
- ⑤ 子育て支援の「親子育児教室」のチラシを年1回市内に全戸配布、「高齢者サロン」のチラシは毎月開催地域へ配布して市民の方への普及啓発に努めました。
- ⑥ ホームページを活用し、入会促進、受注拡大に努めました。

2 会員の自主・自立と意識の高揚

- ① 役員の責任分担性の徹底を図り、担当分野についての把握・指導に努めました。
- ② 地域班長を中心に班の充実を図り、地域集会やボランティア活動などの行事の開催を図り、理念である「自主・自立、共働・共助」の再確認、安全・適正就業、運営についての理解と意識の高揚に努めました。

3 安全就業対策

- ① シルバー事業において最も重要な課題であり、特に就業時の健康状態は自分自身で十分把握していただくよう、事故・怪我防止の啓発に努めました。
- ② 安全はすべてにおいて優先されることを会員一人ひとりに周知し、安全就業の徹底を呼びかけました。
- ③ 就業現場2～3ヶ所を目標に安全パトロールを実施し、作業方法等について安全指導を行いました。令和元年度は計18件の事故が発生。
- ④ 県連合主催の安全・適正就業推進委員会、安全就業対策研修会へ参加し、職群班別講習会を開催しました。

4 自主財源の確保

- ① 事業運営費収入の根幹である運営費補助金の確保、事業費収入の増額を公共、民間、家庭に理解賛同を得られるよう周知し、就業の確保に努めました。
- ② 派遣事業について、公共・民間とも積極的に働きかけ収益の充実を図りました。

5 社会奉仕活動の推進

① 各地域での奉仕活動の実施

- ・ 下石町、妻木町内のゴミ拾い 13名参加
- ・ 肥田公民館周辺の草刈及び片付け 6名参加
- ・ 細野花壇の植栽作業 11名参加

② 地域の行事、公共団体等への事業参画として、土岐市社会福祉協議会主催の福祉まつりに参加しました。

- ・ 刃物研ぎ 7名参加
- ・ だっこっこ作品物販 16名参加
- ・ 会員作品展 4名出品

6 新規開拓事業の推進

① 多様なニーズに対応できる体制づくりを行い、新たな就業機会の確保に努めた。

- ・ 機関紙「シルバー土岐」にて情報提供及び会員募集をしました。
- ・ 就業相談を開催し、就業を希望する会員に適宜対応しました。
- ・ 福祉まつりに参加し、ポスター展示等のシルバー事業紹介を実施しました。
- ・ 県連合会主催の就業開拓勉強会に参加しました。

② 各企業・商店等に対しアンケート調査を実施しましたが、期待する新規事業には結びつきませんでした。また請負と派遣の違いを丁寧に説明して新規派遣先事業所の開拓を図りました。

③ 新総合事業に積極的に参加できるように会員の獲得養成に努めました。事業への参入は市役所担当課と協議中です。

7 適正就業の推進

① 事業理念、就業条件等、会員に平等な就業機会を提供するため、できる限りローテーション就業を実施し、ワークシェアリング（分かち合い就業）の精神で会員の長期的・継続的就業の解消や未就業会員の解消を図りました。

② 法令遵守の観点から労働者派遣法に基づいた適正就業を目指し、派遣実施事業として努力しました。

- ・ 県連合会主催の安全就業推進大会に参加しました。
- ・ 県連合会主催の安全就業対策研修会に参加しました。
- ・ 県連合会主催の職員研修会に参加しました。
- ・ 岐阜労働局主催の労働者派遣事業適正化研修会に参加しました。

8 介護予防事業及び福祉施設の後方支援となる事業

- ① 身近な人に役立つ「人にやさしい介護の基本」を念頭に介護に役立つ料理教室、新総合事業への参入や介護補助員の養成を目的とした介護講習会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの蔓延により中止いたしました。
- ② 高齢者の方が可能な限り住み慣れた地域で生活できるよう地域での生活を総合的に支援するため、各地区で高齢者サロンを開催しました。
 - ・泉地区 6回開催 43名参加
 - ・土岐津地区 5回開催 41名参加
 - ・駄知地区 5回開催 50名参加
 - ・肥田地区 3回開催 5名参加
 - ・妻木地区 6回開催 71名参加
 - ・下石地区 5回開催 33名参加合計 243名参加 動員会員数延べ 367名

9 子育て支援事業

- ① 託児・家庭での育児支援、産前産後の支援、育児教室等の支援事業の推進を図り、地域の若い親さんの多様な要望に応えられる子育て支援を目的に、育児支援、産後の支援、育児教室、子育て相談等の支援事業を行いました。
 - ・0～3歳児を対象に5月～翌年2月の第3水曜日に親子育児教室（親子体操、子どもと楽しむヨガ、手作りおやつ、絵本の読み聞かせ、運動会、パン作り、クリスマスリース作り、お菓子作り、折り紙工作）を開催 親子延べ 285名参加
 - ・小学生を対象に夏休みふれあい教室を開催 15名参加
- ② 各地区で開催される高齢者サロンと合わせて、子育て応援サロンを開催しました。
 - ・泉地区 8組参加
 - ・土岐津地区 2組参加
 - ・駄知地区 0組
 - ・肥田地区 0組
 - ・妻木地区 1組参加
 - ・下石地区 6組参加合計 17組参加

10 高齢者世帯生活サポート事業

高齢者が在宅生活を営む上で、若い世代であれば簡単な家事でも支援が必要な高齢者にとってはままならない、ちょっとした日常的な作業を、元気な高齢者（会員）が有償でサポートすることで、住み慣れた地域で安心した生活ができるようワンコイン事業を実施しました。

- ・ワンコイン100円 25世帯 747回
- ・ワンコイン500円 8世帯 168回

11 高齢者世帯見守り事業

高齢者の多くができる限り住み慣れた地域、自宅で暮らすことを望んでいます。センターでは、安否確認や声かけが必要な高齢者に対して定期的に訪問する高齢者世帯見守り事業を実施しました。

- ・見守り 2世帯 41回